

- 問1 富山ライトレール（LRT）の導入による人々の移動手段の変化について、利用者の構成に着目した記述として正しいものはどれですか。（2016年 長野県公立入試 類似）
1. 以前は自転車を利用していた層が急増した一方で、旧JR富山港線を利用していた人々の多くが鉄道の利用をやめてしまった。
 2. 旧JR富山港線の利用者のみが継続して利用しており、車社会から公共交通への転換という目標は達成されていない。
 3. 以前はバスを利用していた人々がすべて自家用車での移動に切り替えたため、鉄道の利用者は旧JR時代よりも大幅に減少した。
 4. 旧JR線の利用者だけでなく、自家用車を利用していた層や以前は鉄道を利用していなかった層が一定数利用するようになった。
- 問2 製造品出荷額に占める工業分野別割合において、輸送用機械器具の割合が約半数を占め、全体の製造品出荷額等でも全国トップである愛知県の工業に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2022年 宮崎県公立入試 類似）
1. 電子部品や半導体の生産が盛んで、内陸部の高速道路沿いに工場が集積している。
 2. 石油化学コンビナートが形成され、化学工業の割合が最も高くなっている。
 3. 製鉄所を中心とした鉄鋼業が発達し、臨海部に巨大な重工業地帯が広がっている。
 4. 自動車工業を中心に発達し、豊田市などに大きな工場が集团的に立地している。
- 問3 ある都道府県の産業について、農業産出額では米の産出額に比べて野菜の産出額が約3倍と高く、イチゴなどの栽培が盛んである一方、製造品出荷額等が約17兆円にのぼり、工業が極めて盛んであるという特色を持つ県を選んでください。（2022年 岡山県公立入試 類似）
1. 新潟県
 2. 宮崎県
 3. 静岡県
 4. 北海道
- 問4 日本アルプスを構成する3つの山脈について、北から順に、通称「北アルプス」「中央アルプス」「南アルプス」と呼ばれます。このうち、最も北側に位置する「北アルプス」の正式名称を選びなさい。（2024年 長野県公立入試 類似）
1. 木曽山脈
 2. 飛騨山脈
 3. 赤石山脈
 4. 越後山脈
- 問5 愛知県の名古屋市を中心とした地域に広がり、日本の工業地帯・地域の中で製造品出荷額が最も多い工業地帯として適切な名称を選びなさい。（2023年 宮城県公立入試 類似）
1. 中京工業地帯
 2. 阪神工業地帯
 3. 北九州工業地域
 4. 京浜工業地帯
- 問6 ある県の社会統計について、人口密度が1平方キロメートルあたり369.6人と比較的高く、産業別就業者割合において第3次産業が約74%を占め、さらに昼間人口が夜間人口を上回る都市的な特徴を持つ県はどこですか。（2019年 山口県公立入試 類似）
1. 埼玉県
 2. 北海道
 3. 山口県
 4. 愛知県
- 問7 中部地方9県の農業産出額を比較した際、愛知県や静岡県などのように上位品目の割合が分散している県がある一方で、新潟県や富山県、石川県、福井県といった県では、一つの品目の産出額が全体の過半数を占める傾向にあります。これらの日本海側の県において、産出額が突出して多い品目はどれですか。（2020年 京都府公立入試 類似）
1. 豚や鶏などの畜産物
 2. 米
 3. ブドウやモモなどの果実
 4. キャベツやレタスなどの野菜
- 問8 中部地方の農業について、東海地方で盛んに行われている農業の特色と、その代表的な生産地である半島名の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2019年 鳥取県公立入試 類似）
1. 房総半島における施設園芸農業
 2. 渥美半島における施設園芸農業
 3. 渥美半島における米の二期作
 4. 能登半島における果樹栽培と酪農
- 問9 日本アルプスなどの高い山々に囲まれた中央高地の盆地では、他の地域と比較して「ため池」が多く見られます。この地域でため池の利用が発達した理由について、地形と気候の関係から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2026年 愛媛県公立入試 類似）
1. 湿った季節風が高い山々に遮られ、盆地内に流れ込む空気が乾燥することで降水量が少なくなるため。
 2. 内陸部で夏の気温が非常に高くなるため、土壌に含まれる水分が蒸発しやすく、常に大量の散水が必要となるため。
 3. 標高が高いため冬の寒さが厳しく、河川の大部分が凍結して農業用水の取り入れが困難になるため。
 4. 山地からの急斜面が多く、降った雨がすぐに海へ流れ出てしまい、地下水が全く蓄えられないため。
- 問10 急峻な山々に挟まれ、木曽川が北東から南西へと流れる谷底のわずかな平地に、集落や鉄道、道路が密集している地域があります。江戸時代、この場所には「福島関所」が置かれ、山岳地帯を通る主要な交通路の要所となっていました。この街道の名称として正しいものはどれですか。（2018年 神奈川県公立入試 類似）
1. 東海道
 2. 日光街道
 3. 甲州街道
 4. 中山道
- 問11 北陸地方における「冬の気候」と「人々の生活」の関係について述べた文として、正しいものを選びなさい。なお、福井市の統計では冬の降水量が多く、農業暦では冬に農作業の記録がないことを前提とします。（2023年 岩手県公立入試 類似）
1. 冬の間は都市部へ出稼ぎに行くことが禁止されたため、独自の文化が途絶えた
 2. 冬の厳しい寒さを利用して、農作物の二毛作を全国に先駆けて行ったため。
 3. 積雪によって屋外での農作業が制限される時間を、室内での副業に充てた
 4. 雪解け水による豊かな水資源を、大規模な工業用水としてのみ利用した
- 問12 富山県の製造品出荷額等の割合を示した統計資料を確認すると、全国と比較して「化学」と「非鉄金属」の割合が非常に高いという特徴が見られます。この統計結果から読み取れる富山県の工業の特色について述べた文として、正しいものはどれですか。（2023年 富山県公立入試 類似）
1. 中京工業地帯の一部として、自動車部品や工作機械などの輸送用機械の生産に特化している。
 2. 伝統的な売薬業から発展した医薬品製造と、豊富な水・電力を活用したアルミニウム加工が盛んである。
 3. 臨海部に大規模な製鉄所と石油コンビナートが立ち並び、重化学工業の出荷額の大半を占めている。
 4. 原料を海外から輸入しやすい立地条件を活かし、輸入した原油を精製する石油化学工業が中心となっている。
- 問13 山梨県で行われている、捕獲したシカを「ジビエ」として活用する取り組みの目的として、その背景や効果を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2025年 山梨県公立入試 類似）
1. 観光客が野生のシカと触れ合える場所を増やすことで、富士山麓の観光収入を最大化させるため
 2. シカを家畜として大量に飼育し、海外へ輸出するための安定的な生産拠点を作り上げるため
 3. シカによる森林の食害を減らして自然環境を保護するとともに、捕獲した個体を有効活用して地域振興につなげるため
 4. 野生動物の捕獲のみを目的とし、森林を伐採して住宅地や工業団地を造成しやすくするため

答え合わせ・解説

問1	答え 4 旧JR線の利用者だけでなく、自家用車を利用していた層や以前は鉄道を利用していなかった層が一定数利用するようになった。	富山ライトレールの利用者構成を調査したデータによると、以前から鉄道（JR）を利用していた人は全体の半数に満たない46.8%です。残りの約半数は、以前は自家用車で移動していた人や、新しくその路線を使い始めた人、あるいは徒歩・自転車から切り替えた人たちです。特に自家用車や新規層が合計で3割以上を占めていることは、JR富山港線を利用していなかった人が新たに鉄道を利用するようになったことを示しています。
問2	答え 4 自動車工業を中心に発達し、豊田市などに大きな工場が集中的に立地している。	製造品出荷額が全国1位の愛知県では、豊田市などを中心に自動車工業が著しく発達しています。石油化学コンビナートが盛んなのは三重県や山口県などであり、電子部品・半導体は九州地方や東北地方などの特徴となります。
問3	答え 3 静岡県	この県は太平洋側に位置し、温暖な気候を利用した野菜の栽培が盛んで、農業産出額では米よりも野菜の割合が高いことが特徴です。また、輸送用機械などの工業が発達しており、製造品出荷額が非常に大きく、海上や航空による貨物輸送量も多いことから、日本屈指の工業県としての側面を持っています。
問4	答え 2 飛騨山脈	日本アルプスは北から順に、飛騨山脈（北アルプス）、木曽山脈（中央アルプス）、赤石山脈（南アルプス）という名称がついています。これらの山脈は、日本列島を東西に分ける大きな溝（フォッサマグナ）の西側に位置しており、日本の国土を象徴する高峻な地形で構成されています。
問5	答え 1 中京工業地帯	名古屋市中心としたこの工業地帯は、日本の製造品出荷額の約2割を占める日本最大の工業地帯です。豊田市中心とした自動車産業の集積が大きな特徴であり、他の工業地帯と比較しても機械工業の割合が極めて高いことで知られています。
問6	答え 4 愛知県	愛知県は、名古屋市中心に商業やサービス業といった第3次産業が高度に発達しており、就業者割合も非常に高くなっています。また、人口密度が全国平均と比べて高く、周辺地域から人口が流入する中核的な都市機能を持っていることが統計上の数値（昼間人口>夜間人口）から読み取れます。北海道や山口県は人口密度や産業構造が異なり、埼玉県は人口密度は高いものの、東京への通勤者が多いため昼間人口が夜間人口を下回る傾向にあります。
問7	答え 2 米	北陸地方に位置する新潟県、富山県、石川県、福井県は、広大な平野と豊富な雪解け水を利用した稲作が非常に盛んな地域です。そのため、中部地方の中でもこれらの県は農業産出額に占める米の割合が極めて高く、上位品目の多様性が他の県に比べて低いという対照的な構造を持っています。
問8	答え 2 渥美半島における施設園芸農業	愛知県の渥美半島では、太平洋側の温暖な気候を背景に、ビニールハウスや温室などの施設を活用して花や野菜を栽培する「施設園芸農業」が非常に盛んです。特に菊の成長を光で調節する電照菊の栽培は全国的に有名です。房総半島は千葉県（関東地方）に位置し、米の二期作はかつての高知県などで見られた形態です。また、能登半島は北陸地方に位置するため、東海地方の説明としては不適切です。
問9	答え 1 湿った季節風が高い山々に遮られ、盆地内に流れ込む空気が乾燥することで降水量が少なくなるため。	中央高地の盆地では、夏は太平洋側から、冬は日本海側から吹く湿った季節風が、それぞれ周囲の山々を越える際に雨や雪を降らせます。山を越えて盆地側に吹き込む風は乾燥しているため、年間降水量が少なくなります。この気候的制約を克服し、農業用水を確保する手段としてため池が重要な役割を果たしています。
問10	答え 4 中山道	木曽路を通る中山道は、江戸と京都を結ぶ五街道の一つであり、山岳地帯を抜けるルートとして整備されました。木曽福島は、険しい地形によって道が限定されるため、交通の検問を行う関所を設置するのに最適な場所でした。この地域では、現代のJR中央本線や国道19号も木曽川沿いの谷底平野に沿って通っており、古くからの交通の要衝としての性格が引き継がれています。
問11	答え 3 積雪によって屋外での農作業が制限される時間を、室内での副業に充てた	北陸地方では冬に雪が降り積もるため、物理的に稲作ができない時期が生じます。この期間を活用して、農家の人々が家で行う織物や加工品づくりなどの副業が発達しました。このように、厳しい自然環境に適応し、農閑期の労働力を有効に活用しようとしたことが、この地域の地場産業の成立条件となっています。
問12	答え 2 伝統的な売薬業から発展した医薬品製造と、豊富な水・電力を活用したアルミニウム加工が盛んである。	富山県の工業は、歴史的な背景を持つ医薬品（化学）と、地理的条件（水力発電）を活かしたアルミニウム（非鉄金属）の二つが大きな柱です。北部の重化学工業地帯を中心にこれらの産業が集積しており、他の工業地帯・地域とは異なる独自の産業構造を持っています。
問13	答え 3 シカによる森林の食害を減らして自然環境を保護するとともに、捕獲した個体を有効活用して地域振興につなげるため	単に野生動物を「駆除」するだけでは、処分のコストや担い手不足が課題となります。捕獲から「処理加工」「供給」「消費」という一連のサイクルを作ることで、シカによる食害から森林を守る（自然保護）と同時に、地域の特産品として新たな価値を生み出すことがこの仕組みの大きな目的です。これにより、環境保護と地域経済の両立を目指しています。